

ご担当者さま

2018年8月9日
(全4枚 1/4枚目)

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018 観客賞発表!!

★国際コンペティション

『ザ・ラスト・スーツ(仮題)』

(スペイン・アルゼンチン／パブロ・ソラルス監督)

★国内コンペティション(長編部門)

『岬の兄妹』(日本／片山慎三監督)

★国内コンペティション(短編部門)

『はりこみ』(日本／板垣雄亮監督)

動員数発表!!

来場者合計 9,740名 (前年比105%)

平素よりお世話になっております。

世界に先駆けてデジタルシネマにフォーカスし、若手映像クリエイターの登竜門として2004年にスタートしたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭(主催:埼玉県、川口市ほか)は、7月13日(金)～22日(日)までの10日間、15回目の開催を迎え、最終日7月22日(日)のクロージング・セレモニー(表彰式)にて、国際コンペティション、国内コンペティションの各賞を発表・表彰とともに全日程を終了いたしました。

そしてこの度、後日発表としておりました、「観客賞」の結果が決定しました!

審査員により決定される賞とは別に発表される本賞は、来場されたお客様ひとりひとりによる人気投票の集計結果となっており、観客賞を獲得した作品は、もっとも観客の皆さまの支持を集めた作品といえます。



本年の観客賞には、国際コンペティションでは、スペイン、アルゼンチン合作の『ザ・ラスト・スーツ(仮題)』(パブロ・ソラルス監督)が輝きました。

国内コンペティションでは、長編部門で『岬の兄妹』(片山慎三監督)が受賞。本作は国内コンペティション長編部門で優秀作品賞を受賞しており、観客賞とのW受賞となりました。国内コンペティション短編部門では、『はりこみ』(板垣雄亮監督)が受賞となりました。

観客賞受賞作品の詳細および受賞者コメントは、本リリース2枚目以降の通りです。

また、合わせて、本年の「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018」来場者数についても集計が終了いたしました。本年の来場者数は、9,740名となりました。詳細は本リリース4枚目をご参照ください。

ご多用とは存じますが、ぜひ本情報を貴媒体にてご紹介くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<お問合せ> SKIPシティ国際Dシネマ映画祭事務局 広報:堀切

TEL: 048-263-0818 FAX: 048-262-5635

MOBILE: 090-4228-2342 E-Mail: horikiri@skipcity.com / press@skipcity-dcf.jp

国際コンペティション 観客賞



『ザ・ラスト・スーツ (仮題)』

<2017年/スペイン、アルゼンチン/91分>

監督：パブロ・ソラルス

出演：ミゲル・アンヘル・ソラ、アンヘラ・モリーナ、ナタリア・ベルベケ、フリア・ベールホルド、オルガ・ボラス

© 2016 HERNÁNDEZ y FERNÁNDEZ Producciones cinematograficas S.L., TORNASOL FILMS, S.A RESCATE PRODUCCIONES A.I.E., ZAMPA AUDIOVISUAL, S.L., HADDOCK FILMS, PATAGONIK FILM GROUP S.A.

<STORY>

ナチスの迫害を逃れた老人が、約束を果たす旅に出る感動のロード・ムービー。

ブエノスアイレスに住む 88 歳の仕立屋アブラムは、子どもたちに自分の家を処分されたのを機に、故郷ポーランドへと旅立つ。それは、戦時下にユダヤ人である自分を救ってくれた友との再会を果たすためだった。

観客賞受賞コメント パブロ・ソラルス監督



私が幼い頃から、いやそれ以前の世代の者から引き継がれてきた感情を共有したいという願望のために、これほどまでに個人的なストーリーの脚本を書き、監督をしましたので、世界中の観客の皆さんと上映の機会を共にし、彼らが作品に感情的に反応し、映画の登場人物やストーリーに共鳴している姿を目の当たりにするのは、とても感動的なことです。また、映画祭のコンペティションで上映される場合、私にとって、観客賞は最高に価値のあるものだと思っています。観客賞は、最も純粋な作品への評価であり、長い期間をかけた制作への報労だと思います。本作は私に、さまざまな国へと旅をし、いろいろな文化に触れるきっかけを与えてくれました。今回、日本に来られたことで、私の人生は大きく変わったと思っています。そして、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭で観客賞をいただけたことは、決して覚めてほしくない夢のようです。日本の観客の皆さんに、心から感謝しています。

国内コンペティション(長編部門) 観客賞



『岬の兄妹』

<2018年/日本/89分>

監督：片山慎三

出演：松浦祐也、和田光沙、北山雅康、岩谷健司、中村祐太郎、風祭ゆき

<STORY>

足に障害を持つ兄と、知的障害の妹。闇の中の二人に希望の光は射すのか？

良夫は、知的障害の妹・真理子と二人暮らしをしている。仕事を解雇された良夫は、貧困から脱するため、妹に売春をさせて生計を立てようとする。しかし二人には、様々な試練が待ち受けていた。

観客賞受賞コメント 片山慎三監督



観客賞を受賞したことを聞き、素直に感激しております。会場の観客席にいらっしゃった皆様
に感謝いたします。映画にするのは勇気と覚悟が必要な題材でした。観た皆様にも覚悟が必要
だったと思います。不愉快な気持ちを持った方もいらっしゃったかも知れません。しかしこの
ような形で賞をいただけたということは観客の皆さんのなかに何かが残ったものだと思ひ、岬
の兄妹を撮って良かったと思うのと同時にこれからの映画づくりにおいて励みになります。あ
りがありがとうございます。

国内コンペティション(短編部門) 観客賞



『はりこみ』

<2017年/日本/28分>

監督：板垣雄亮

出演：池田香織、鳥谷宏之、板垣雄亮、鶴町憲

© FUNNY FOR

<STORY>

巧みな会話術で繰り広げる、上質な密室シチュエーション・コメディ。

深夜の住宅街で、3人の刑事が重要参考人を追って車で張込みをしている。無神経な若手刑事、面倒くさい女刑事、上司
を気にする中堅刑事が、退屈な時間を潰すために取り留めのない話を続けている。

観客賞受賞コメント 板垣雄亮監督



この度は本映画祭において「観客賞」という、実際に「はりこみ」を会場でご覧になっていただ
いたお客様の皆様による大変素晴らしいご褒美をいただきまして、関係者一同嬉しい気持ちで
いっぱいです。厚く御礼申し上げます。私たちの存在は、実際に作品を観ていただくお客様がい
なくては成立しません。そしてそのお客様に楽しんでいただけた事がエネルギーとなり、不安
な未来に向かってまた少し走る事ができます。今後もたくさん楽しんでいただけますように、
より一層精進したいと思います。また、今回は「国際映画祭」ということで英語字幕をつけて
いただきました。日本語でも面倒な劇中の会話のニュアンスや構成に、翻訳が大変だったので
とお察しします。素晴らしい翻訳をしていただいた方々にも厚く御礼申し上げます。打ち上げ
しましょう。今後の映画祭のより一層の発展を願って受賞のコメントとさせていただきます。
ありがとうございました。

観客賞は、映画祭会期中に実施した観客投票により決定しました。受賞作品には、それぞれ
賞状、トロフィーの授与と、副賞として埼玉県産品(協賛：埼玉経済同友会)が贈られます。

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018 来場者数の発表について

第15回を迎えたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018は、**2018年7月13日(金)～22日(日)の10日間開催**され、来場者数合計では、**前年(2017年/9,228名)を上回る9,740名**となり、2013年(第10回)の10,043名に次いで**過去2番目に多い来場者数となりました。**

7月13日(金)のオープニング・セレモニーおよびオープニング上映、7月14日～16日の土日祝3連休、7月21日～22日の土日を中心に動員数を伸ばしたに加え、新会場となったMOVIX川口においても、主に夜21:00からの上映ながら連日盛況となり、満席回も出るなど、初めての会場でありながら観客の皆さまに好評をいただいたことが動員数に影響しているものと分析しています。

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018 来場者数
9,740名(前年比 約105%)

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 来場者数(2004年～2018年)

	開催期間	開催日数	入場者数	一日あたりの入場者数
第1回	2004年3月20日～28日	9日間	5,084名	564名
第2回	2005年7月16日～24日	9日間	5,630名	625名
第3回	2006年7月15日～23日	9日間	5,143名	571名
第4回	2007年7月14日～22日	9日間	6,548名	717名
第5回	2008年7月19日～27日	9日間	5,912名	656名
第6回	2009年7月10日～20日	11日間	7,538名	685名
第7回	2010年7月23日～8月1日	10日間	8,161名	816名
第8回	2011年10月8日～16日	9日間	6,690名	743名
第9回	2012年7月14日～22日	9日間	8,077名	897名
第10回	2013年7月12日～21日	10日間	10,043名	1,004名
第11回	2014年7月19日～27日	9日間	9,104名	1,011名
第12回	2015年7月18日～26日	9日間	9,375名	1,041名
第13回	2016年7月16日～24日	9日間	9,050名	1,005名
第14回	2017年7月15日～23日	9日間	9,228名	1,025名
第15回	2018年7月13日～22日	10日間	9,740名	974名

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018(第15回)開催概要

- 会期：2018年7月13日(金)～22日(日) <10日間>
- 会場：SKIPシティ 映像ホール/多目的ホール、MOVIX川口(埼玉県川口市)ほか
- 主催：埼玉県、川口市、SKIPシティ国際映画祭実行委員会、特定非営利活動法人さいたま映像ボランティアの会
- 公式サイト：www.skipcity-dcf.jp

<お問合せ> SKIPシティ国際Dシネマ映画祭事務局 広報：堀切

TEL：048-263-0818 FAX：048-262-5635

MOBILE：090-4228-2342 E-Mail：horikiri@skipcity.com / press@skipcity-dcf.jp